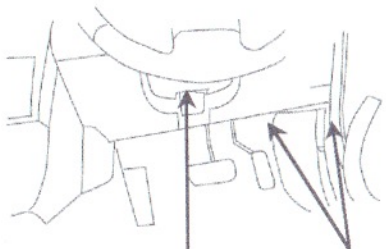


3-3 ハンドル・コラム・コラム下カバー取り外し

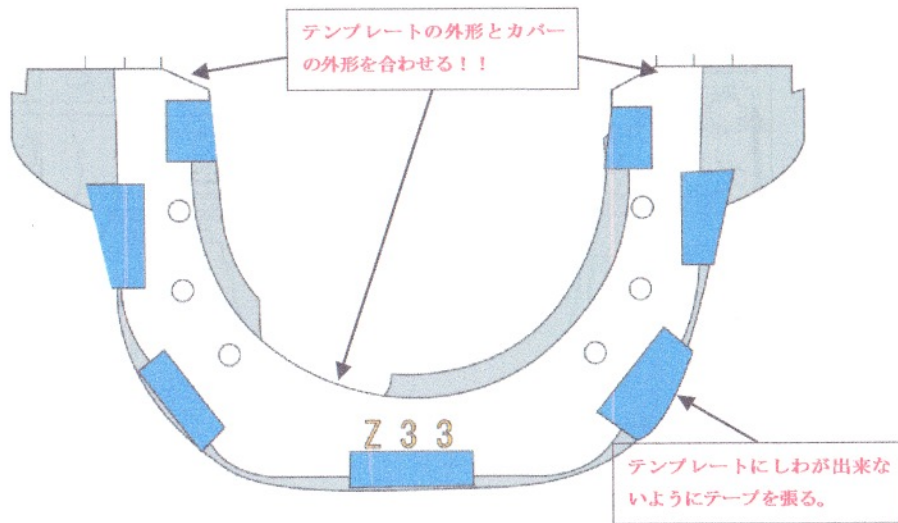


コラムカバーネジ4本 下カバーネジ

- ① 整備書を参考に純正ステアリングを取り外します。
- ② コラム下カバー取り外し
スカッフプレートを外し、アクセルペダル横のカバーを外すとコラム下カバーの取り付けネジがその他に矢印の部分にもあります。下カバーには各種コネクタやボンネットリッドワイヤーがあるが作業がやり難い場合は全て外して下さい。
- ③ コラムカバー取り外し
コラムカバー下側からネジを4本外し、コラムカバー下側を外します。

3-4 コラムカバー穴あけ

- ① 付属のテンプレートを外形でカットし、コラムカバーにマスキングテープ等でしっかり貼り付け、6箇所の丸穴の中心に尖った物等でボンチを打ちます。(オートボンチ等でしっかりボンチングして下さい。)



- ② 多少のずれは大き目の穴を開けているために修正できますが、大きくずれますと取り付け位置が適正な場所にならない可能性もありますので、慎重に穴を開けて下さい。最初からΦ6.0のドリルを使わず、Φ3.0程度の小さい穴から開けると、穴位置がずれにくくなります。
- ③ 穴を開けたらスイッチステー左右を仮止めし、スイッチ本体から出ている配線を通す穴の位置を確認し、マーキング後に、Φ4.0位の穴を開けて下さい。
注：配線にストレスが掛からないように、配線が真直ぐになる場所に穴を開けて下さい。

NISSAN フェアレディーZ (Z33)
スカイライン (V35 5AT用)

コラムシフターKIT PAT.P 取り付け説明書

0200517

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠に有難う御座います。
必ずご使用前に本書を良くお読みください。

ご使用、お取り付けの前に

- ・ 本製品はスポーツシフト機能をコラムから延長させた、パドルスイッチで操作できるようにするものです。
- ・ 誤った取り付けや取扱いで車両等を破損又は事故等を起された場合に付いて弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品の取り付けには、ある程度のノウハウが必要です。しかるべき知識、技術をお持ちのカーショップ、販売店での取り付けを強くお勧めいたします。
- ・ シフトチェンジの酷使にご注意ください。トランスミッションの寿命に影響する場合があります。A/Tフルードの交換も定期的に行い、管理に注意を払ってください。また、本製品を装着されている場合、A/Tミッションの故障時、自動車ディーラーで修理を受けられない場合が想定できます。本製品は基本的には純正のシフトスイッチと同様の回路を再現したものです。修理に関するリスクはユーザー様の自己責任としてご理解ください。
- ・ パドル本体には、ある程度の位置調整機能がありますが、パドルにより運転に不具合があると思われる場合はご使用を中止してください。
- ・ パドル電気スイッチは消耗品です。10N前後の力で作動しますので、この範囲内で丁寧に操作して下さい。30N以上の力で操作すると破損する恐れがあります。スイッチの交換作業は有償対応です。

⚠️ パドルプレートは丸みを持たせて製作しておりますが、事故等の衝突時、直後の強い打撃等で手に怪我をする恐れがあります。充分ご注意ください。

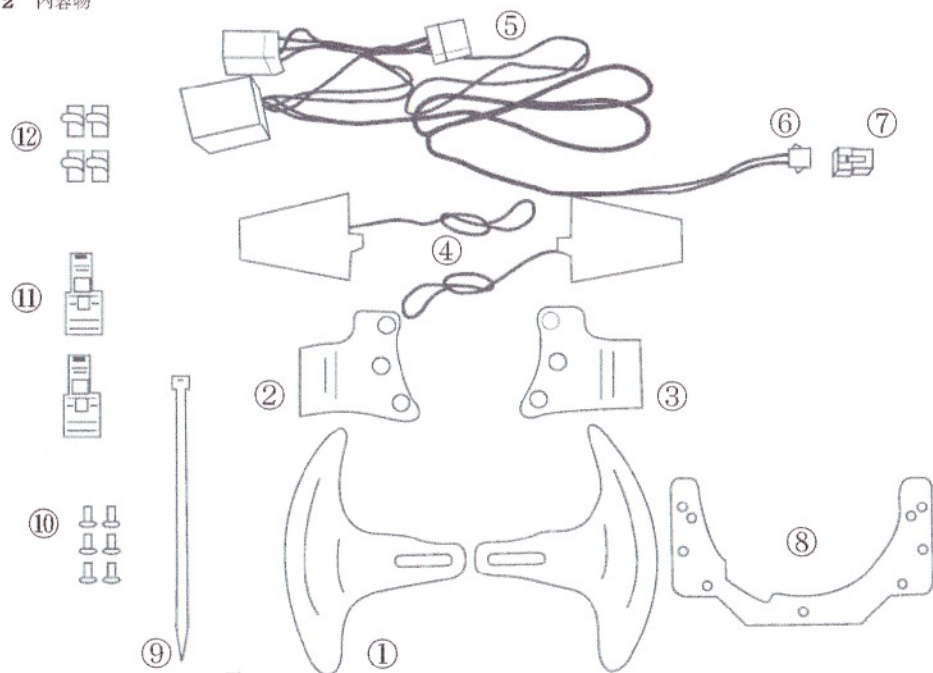
⚠️ パドルプレートの止めネジが緩むと不意にパドルが外に移動し、操舵に支障をきたす恐れがあります。日常の運行前点検で常にネジの緩みがないかご確認ください。

上記事項がお客様のご意向に沿わない場合は、お買い求め頂いた販売店又は弊社までお問合せください。お問合せの結果ご返品いただく場合はお買い上げの状態のまま販売店にご相談ください。(ご返品の際に送料をご負担いただく場合が御座います)

1 使用目的

純正で装備されているスポーツシフト機能を、コラムカバーにパドル型スイッチを増設し、ステアリングから手を離さずにシフトチェンジを可能にするものです。

2 内容物



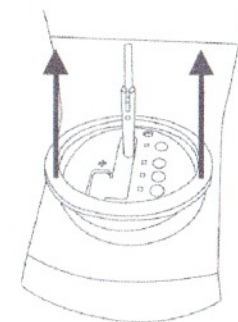
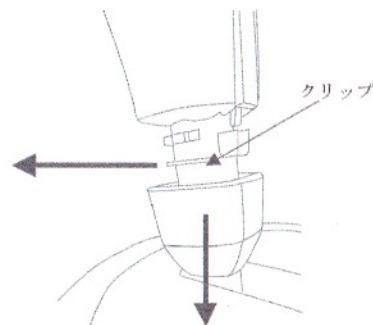
No	部品名	数量	No	部品名	数量
①	パドルレバー(左右)	1	⑦	中間カプラーメッシュ	1
②	スイッチステー左	1	⑧	スイッチベースプレート	1
③	スイッチステー右	2	⑨	タイラップ	1
④	スイッチ本体(左右)	1	⑩	M5サラネジ	6
⑤	回路付専用きハーネス	1	⑪	エレクトルトップ	2
⑥	中間カプラーオス	1	⑫	コードクランプ	4

3 装着作業

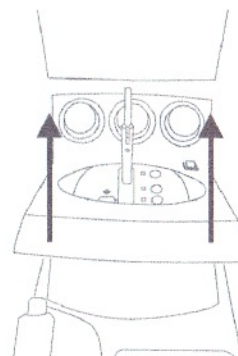
- ・純正ステアリングホイール・エアバックモジュールの取り外しは、各自動車メーカーの整備解説書に準じて作業してください。
- ・また、同封のエアバック装備車に対する取り付け注意事項をよくお読みになって純正ハンドルを取り外してください。
- ・取り付けに必要な工具・Φ6.0ドリル等は別途ご用意下さい。

3-1 シフト周り取り外し (注: 図はZ33用ですが、他の車種も基本的作業は変わりません。)

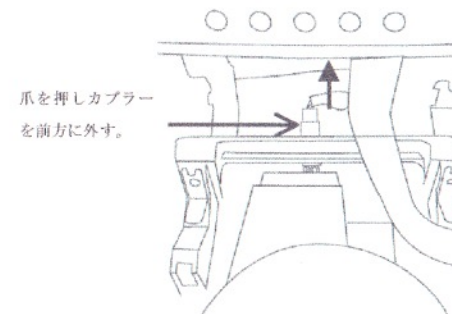
- ① シフトノブ下のカバーを下げ、ノブを止めている
- ② シフトパネルリングを上を持ち上げ取り外す。クリップを前方に外せばノブが引き抜ける。



- ③ シフトパネルカバーを手前から上を持ち上げ取り外す。

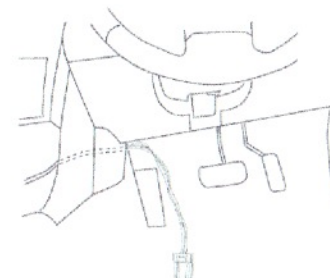
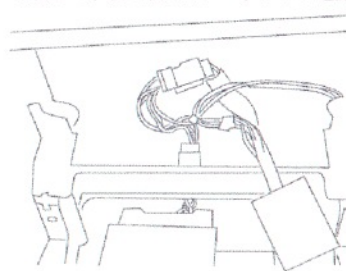


- ④ シフト奥の下側にある、シフトハーネスと車両側ハーネスとを接続しているカプラーを外す。L字の尖った工具で爪を押しながらカプラーを抜けば、比較的簡単に出来ます。



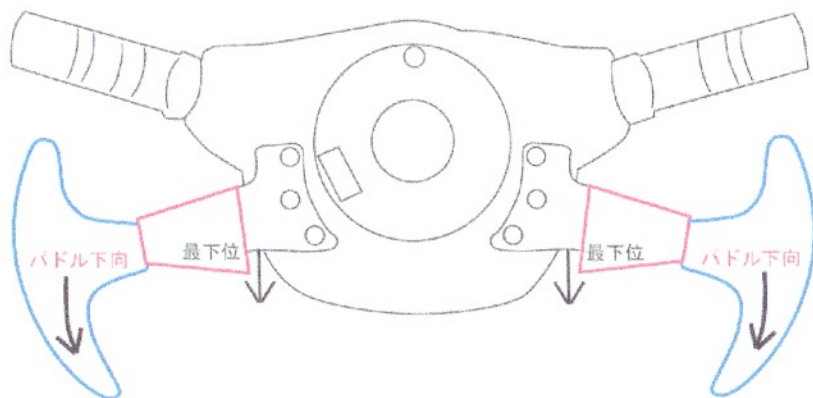
3-2 付属の回路付き専用ハーネスを外したカプラーに割り込ませる。

- ① 専用ハーネスを接続したら、回路が入っているBOXをカプラー等にタイラップで動かないように固定し、グレーのカプラーはセンターコンソール右側を通し、運転席の足元まで出します。また赤い配線も動揺にし、後工程でイグニッション電源に接続します。

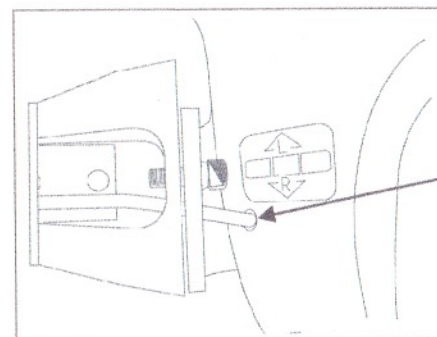


【逃げ重視のポジション】

パドルレバーを下向きに取り付け、スイッチ本体を最下位にすると、ウィンカー及びワイパーレバーの干渉を防げますがパドルの操作性が劣ります。また、パドルレバーと膝との距離が近づくために、乗り降りの際には接触に注意が必要です。



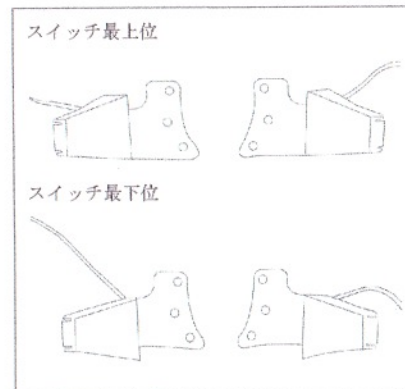
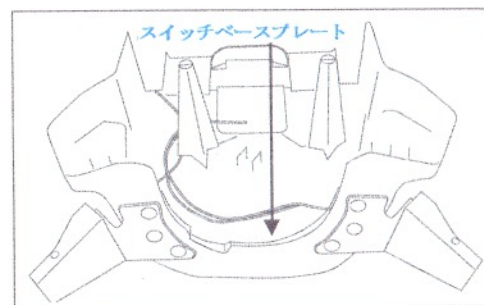
★ また、パドルレバーにも取縮調整がありますので、お好みの位置に設定して下さい。



コラムカバーの左右とも穴を開ける。

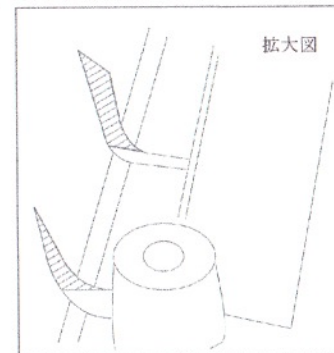
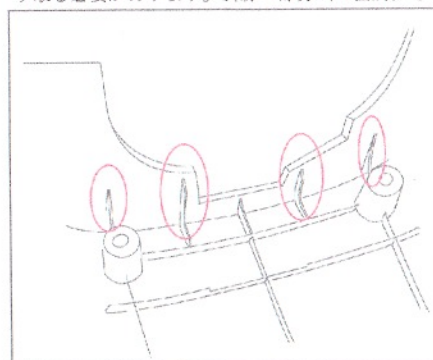
3-5 スイッチベースプレートとスイッチステー左右の取り付け
(パドルの設定位置に付いては、巻末の資料を参考して下さい。)

- ① スイッチベースプレートをコラムカバーの裏にあてがい、付属のサラネジを使用してスイッチステー左右を取り付けて下さい。この時にある程度の希望のパドル位置に狙いを付けて取り付けします。



注 スカイラインの注意事項

スカイラインに取り付けの際は、コラムカバー裏側のリブがスイッチベースプレートと干渉するために、リブを切り取る必要があります。斜線の部分（4箇所）をニッパ等で切り取って下さい。



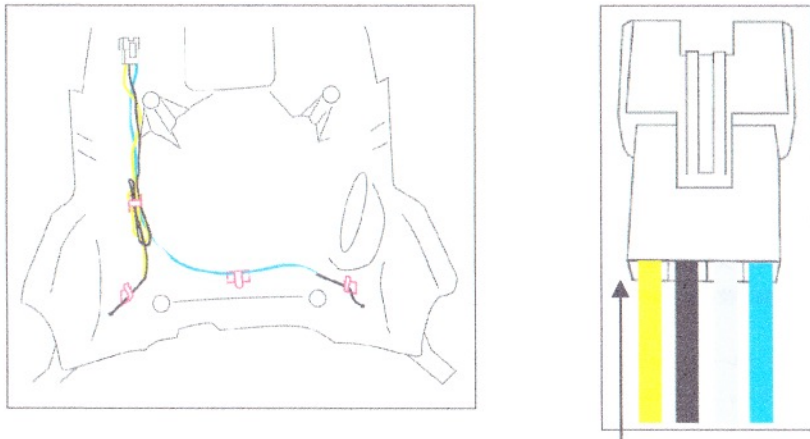
株式会社ワークスベル
〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507
TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706
URL: <http://www.worksbell.co.jp>

3-6 スイッチ配線のカプラー接続

スイッチからの配線を、コラム横に開けた穴からコラム内側に引き込みます。(左図)

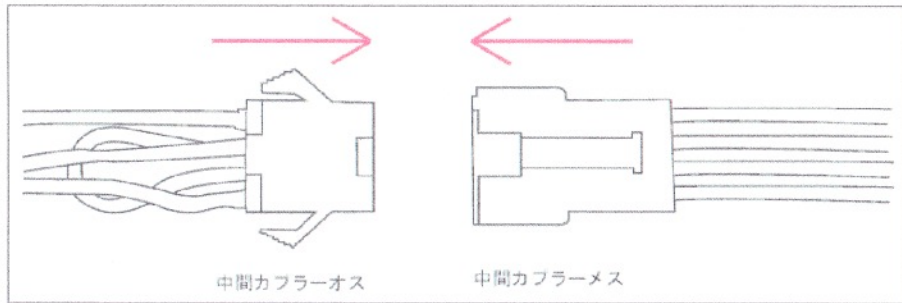
付属の中間カプラーメスにスイッチ左右の配線を接続します。(右図)

接続後は付属のコードクランプを使用し、配線をまとめます。(両面テープを張る部分は脱脂して下さい)



3-7 中間カプラー接続

シフト側から引いた中間カプラーオスと3-6で端子を差し込んだ中間カプラーメスとを接続して下さい。



3-8 プラス電源・アース線接続

① 回路付き専用ハーネスから出ている赤色の線を、付属のエレクトルトップを使用してイグニッション電源に接続します。

中間カプラーオスから出ている黒色の配線を、付属のエレクトルトップを使用して、ボディアースに接続して下さい。(テスター等を使用し、判別して下さい。)

注：シフト側からコラムまで引いた配線をビニールテープ等を用いて他の配線等とまとめてください。

配線が弛んだ状態等は、接触不良や擦れてショートの原因になる場合があります。

3-9 コラムカバー等の取り付け

コラムカバー等外した物を、外した手順と逆に取付を行ってください。

3-10 ステアリングの取り付け

ステアリングを元に戻してください。

付属の+ (右)・- (左) ステッカーを任意の位置に張ってください。

4 取り付け確認及び注意事項

- 右パドルでシフトUP・左パドルでシフトDOWNに設定されています。お取り付けが終了しましたら、走行の前に、ウインカーのリターン・ホーンの動作・パドルの動作・ステアリングの取り付け等を必ず確認してください。

注：UP・DOWN 同時に操作しても問題は無いはずですが、極力同時に操作しないで下さい。弊社でのテストでは問題ありませんでしたが、長時間の同時操作等で車両側回路の故障・ATの故障・コンピューターの誤作動等予期せぬ事態が発生しても、弊社では責任を負えません。

それぞれを単独でATがチェンジする反応速度以内で丁寧に操作してください。また本パドルシフターは、純正装着されているスポーツシフトのスイッチングをハンドル上で再現した物ですので、純正スポーツシフトと同等の性能です。

【巻末資料】パドルの位置について

お好みにより、パドルの位置をある程度調整することが出来ます。

【操作性重視のポジション】

パドルレバーを上向きに取り付け、スイッチ本体を最上位にすると、操作性重視の位置になりますが、右ウインカーを出しながらのパッシング及びワイパー作動中のウォッシャー操作時に、レバーがパドルに干渉します。

